

## 救 急 科

### 【実習目標】

一般目標：

- ① 高度救命救急センター/集中治療部・救急外来実習により基本的な救急・重症患者の診療を理解する。
- ② 救急・集中治療・災害医療・緊急被ばく医療の仕組みを理解する。
- ③ 病院外における救急現場の経験を通じて、病院前救護を理解する。
- ④ ドクターヘリシステムの意義を理解する。
- ⑤ チーム医療，医療倫理，医療経済を理解する。

行動目標：

- 1) 高度救命救急センター/集中治療部・救急外来での実習
  - ① 高度救命救急センター/集中治療部・救急外来における救急初期診療の基本を述べる。
  - ② 視診・触診・聴診など身体所見に重点を置いた患者評価を行う。
  - ③ 救命救急センター/集中治療部入室患者の2週間の身体所見，重症度スコアの変化を把握し治療経過を知るとともに，報告書にまとめる。
  - ④ 担当症例について，救急科カンファレンスで症例プレゼンテーションを行う。
  - ⑤ 基本的な検査所見を解釈する。
  - ⑥ 基本的な救急手技(救急科専門医に必要な手技より選択) および薬剤について，実技や実際の処方を見学し，成書で確認しまとめるとともに，担当教官に指導を仰ぐ
  - ⑦ 担当症例について，診療経過の詳細及び文献等で学習した内容を PPT 形式にまとめる
- 2) 二次救命処置・集中治療・外傷救命処置・災害医療・緊急被ばく医療
  - ① シミュレータを用いて心肺停止に対する二次救命処置 (ALS) を修得する。
  - ② 重要な救急疾患 (敗血症，急性呼吸不全等) の治療の基本を修得する。
  - ③ 集中治療・外傷救命処置の基本を述べる。
  - ④ 災害医療・緊急被ばく医療における一般的対応を述べる。
- 3) 救急車同乗実習
  - ① 病院前救護における救急隊員との医療連携を述べる。
  - ② 救急車に同乗し，病院前救護を中心とした救急医療の現状を実体験する。

4) ドクターヘリ実習

- ① ドクターヘリの特徴, 適応, 期待できる効果について述べる.
- ② 広島ヘリポートにおいて, ドクターヘリ, 通信室を見学する.

5) 情意領域

- ① 患者やその家族の心情を共有する.
- ② チーム医療, 医療倫理, 医療経済など, 医療人としての自覚を育む.

1. 集合場所など

- 1) 実習初日は, 午前8時00分に入院棟3階・高度救命救急センター・集中治療部の医師控室2へ集合する
- 2) 実習中は, ヘリポート・救急車実習を除き, 病棟を離れない. 万が一病棟を離れる場合は, 必ずその日の病棟責任者医師の許可を得る
- 3) オリエンテーション終了後, 実習における基本的知識のミニテストを実施する

2. 臨床実習

- 1) 高度救命救急センター・集中治療部・救急外来の新規救急患者の初期診療に立ち会う
- 2) 毎日必ず自分で担当患者の身体所見をとる(カルテ等を写さない). 結果を所定用紙に記載する
- 3) 身体所見をとる際は, 担当医あるいは病棟責任者医師の許可を得る.
- 4) 身体所見をとる場合は, 標準予防策を適用し, 患者および家族への礼儀に注意する
- 5) 患者および家族へのインフォームド・コンセントに同席する際は, 患者や家族の心情を配慮し, メモや質問は控える

3. 症例プレゼンテーション

- 1) 担当患者の診療内容を, プロブレム指向形式で朝夕のカンファレンスでプレゼンテーションする
- 2) 担当患者の2週間の診療経過(入院時サマリー, 身体所見, 担当機関中の臨床経過)をまとめる
- 3) 病態相関図を考察してまとめる
- 4) 医学文献を引用して, 症例から学んだ問題点・今後の課題を考察する
- 5) PPTファイルを用いて, 総括で発表する

#### 4. ALS（二次救命処置）実習

- 1) 診断学入門プログラムで配布した資料（特に BLS）を事前学習しておく
- 2) 初日に ALS デモビデオ（救急集中治療医学研究室）を見て学習する
- 3) BLS 復習, Primary ABCD survey, バッグバルブマスク換気法およびモニター付除細動器の使用方法をシミュレーション実習する
- 4) 最終日に ALS の技能評価試験を行う

#### 5. レポート

##### 1) 内容：

- ① 担当症例の身体診察所見シート（1日1枚）
- ② 症例プレゼンテーション（PPT形式）
- ③ 見学し、内容を勉強した救急手技・薬剤のまとめ（ワードファイル）
- ④ 救急車同乗症例記録

##### 2) 提出期限；第2週目金曜日総括時

#### 【指導教員】

志馬 伸朗	教授（医歯薬保健学研究科 救急集中治療医学）
廣橋 伸之	教授（原医研 放射線災害医療研究センター）
大下 慎一郎	准教授（医歯薬保健学研究科 救急集中治療医学）
津村 龍	講師（病院 高度救命救急センター）
細川 康二	講師（病院 集中治療部）
太田 浩平	助教（医歯薬保健学研究科 救急集中治療医学）
田邊 優子	病院助教（病院 高度救命救急センター）
山賀 聡之	病院助教（病院 高度救命救急センター）
矢野 佳子	助教（医歯薬保健学研究科 救急集中治療医学）
鈴木 慶	病院助教（病院 高度救命救急センター）
稲川 嵩紘	特任助教（緊急被ばく医療推進センター）
京 道人	病院助教（病院 高度救命救急センター）

#### 【評価の方法と基準】

評価項目	配点
指導医による行動内容の評価	10
回診での患者提示	10
担当症例の評価レポート，手技レポート	15

救急車同乗症例記録と報告	15
ALS の技能評価試験	20
症例プレゼンテーション	30

【医局連絡先】

研究室直通 TEL: 082-257-5456 (平日 9:00~17:00)

(※時間外の緊急連絡は下記にメール連絡すること)

事務 E-mail: [etakeno@hiroshima-u.ac.jp](mailto:etakeno@hiroshima-u.ac.jp)

准教授 E-mail: [ohshimos@hiroshima-u.ac.jp](mailto:ohshimos@hiroshima-u.ac.jp)

教授 E-mail: [nshime@hiroshima-u.ac.jp](mailto:nshime@hiroshima-u.ac.jp)